

『東海耐久シリーズ 2019』 開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

【東海耐久シリーズ 2019 開催概要】 Ver.2.0

昨年、GTCP 耐久シリーズからの変更点は赤色で記載してあります。(開催日程は除く)

開催日程 (2019年1月再発表)	K耐久／GT耐久 共通						
		開催日	決勝時間	申込受付期間	早割適用 入金期限	開催会場	主催
	第1戦	4月21日(日)	5時間	3月21日(木)～ 4月11日(木)	-	美浜サーキット	(株)美浜サーキット・クニモト
	第2戦	6月30日(日)	3時間	5月15日(水)～ 6月10日(木)	5月30日(木)	鈴鹿ツインサーキット	レインボーカラーズ(株)
	第3戦	8月18日(日)	5時間	7月18日(木)～ 8月8日(木)	-	美浜サーキット	(株)美浜サーキット・クニモト
	第4戦	9月22日(日)	3時間	8月2日(金)～ 9月2日(月)	8月22日(木)	スパ西浦モーターパーク	レインボーカラーズ(株)
	<ul style="list-style-type: none"> ・申込期限は、各ラウンド共上記の通りとする。 ・開催場所は「美浜サーキット、スパ西浦モーターパーク」を転戦する。 ・全ラウンド共、本シーズンよりK、GT混走の決勝とし、K/GT部門毎のグリッド順でローリングスタートを行う方式とする。(2018年までの美浜方式に準ずる) ・美浜サーキットのラウンドは、美浜4輪耐久へ参加するものとし、シリーズポイントが本シリーズ用として別途付与される。(ダブルタイトル制) ・各戦とも予選、決勝と走行する。(フリー走行は各回により有料、又は無料でそれぞれ行われる) ・早割は、入金期限の期日までに指定口座に着金がないと認められない。 						
参加資格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 主催者が認めるドライバー。 						
参加申込	<ol style="list-style-type: none"> 1. 申込受付期間 上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。 ※指定ピットの位置は、申し込みが成立した順で、申込書に希望した側から割り振る。 ※申込期間よりも前に申込書が到着した場合は、受付初日の正午の申込み順でピット位置を割り振る。 ※他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申込書に記載すること。この場合、後から申し込んだ方のチームの順番で、ピット位置を割り振る。 2. 申込方法 <ol style="list-style-type: none"> ①必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「耐久事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。 ※必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒441-1376 愛知県新城市宮の前 15-1 FAX 0536-23-2922 レインボーカラーズ株式会社 新城オフィス ②参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振込で送金すること。 『振込先』 スパ西浦、鈴鹿ツインサーキットラウンド: 三菱UFJ銀行 知立支店 普通 0069732 レインボーカラーズ(カ) 美浜サーキットラウンド: 三菱UFJ銀行 半田支店(440) 普通 0025134 カ)美浜サーキットクニモト 						

『東海耐久シリーズ 2019』 開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

	<p>※チーム代表者名と別名義で入金する場合は、申込書の所定の欄にその旨を記載すること。 ※振込手数料は参加者負担とする。</p> <p>3. 申し込みの成立と募集台数 必要書類到着と、参加費用の入金をもって申し込みが成立する。募集台数に達した場合は、正式申し込みの順にて受理する。 募集台数…スパ西浦:全クラス合計 45 台 美浜サーキット:30 台</p> <p>4. キャンセルについて ・申込期間中のキャンセルは事務手数料 1,000 円を差し引き返金する。 ・受理書発送後から、大会前前日までのキャンセルは半額を返金する。 ・大会前日以降のキャンセルはできない。(リタイヤ扱いとなる) ・キャンセルの場合、エントリー代の次戦繰り越しは出来ない。</p>																				
<p>参加費用</p>	<p>K耐久／GT耐久とも</p> <table border="1" data-bbox="353 571 1794 730"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th>会場</th> <th>ロールケージ装着車両</th> <th>ロールケージ未装着車両</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 戦</td> <td>美浜サーキット</td> <td align="center">¥60,000(消費税 8%の場合、税込)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第 2 戦</td> <td>鈴鹿ツインサーキット</td> <td align="center">¥50,000(消費税 8%の場合、税込)</td> <td align="center">¥55,000(消費税 8%の場合、税込)</td> </tr> <tr> <td>第 3 戦</td> <td>美浜サーキット</td> <td align="center">¥60,000(消費税 8%の場合、税込)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第 4 戦</td> <td>スパ西浦モーターパーク</td> <td align="center">¥50,000(消費税 8%の場合、税込)</td> <td align="center">¥55,000(消費税 8%の場合、税込)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※消費税については、8%で計算しています。10%がシーズン中に導入された場合、上記金額に¥1,000 プラスされますのでご了承ください。 ※屋根ありピット使用料(先着順です) +¥3,500 鈴鹿ツインサーキット…14 台(支払い後にピットが使用できなかった場合は返金されます) ※ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける ※ロールケージ装着義務付けのクラスは、未装着では参加できない</p> <p><鈴鹿ツイン、スパ西浦ラウンドにおける割引制度(※美浜サーキットでは適用外)> 下記の各種割引制度が鈴鹿ツインサーキット、スパ西浦モーターパークラウンドにはあり。</p> <p>① 早割り … ▲1,000円割引(美浜摘要なし) 早割適用入金期限(開催日程欄参照)迄に申し込みと指定口座への着金が完了した場合に適用。 (入金期限日までに振込みを完了しても、着金がなされないと認められないので注意すること)</p> <p>② 学割り … ▲5,000円割引(K-ST クラス、及びその他クラスについても条件を満たせば摘要される)(※美浜摘要なし) 大学、専門学校の自動車部・サークルのチームに適用。参加車両名に必ず学校名(アルファベットによる略称は不可)を入れ、ドライバー全員が在校生であること。</p>	開催回	会場	ロールケージ装着車両	ロールケージ未装着車両	第 1 戦	美浜サーキット	¥60,000(消費税 8%の場合、税込)		第 2 戦	鈴鹿ツインサーキット	¥50,000(消費税 8%の場合、税込)	¥55,000(消費税 8%の場合、税込)	第 3 戦	美浜サーキット	¥60,000(消費税 8%の場合、税込)		第 4 戦	スパ西浦モーターパーク	¥50,000(消費税 8%の場合、税込)	¥55,000(消費税 8%の場合、税込)
開催回	会場	ロールケージ装着車両	ロールケージ未装着車両																		
第 1 戦	美浜サーキット	¥60,000(消費税 8%の場合、税込)																			
第 2 戦	鈴鹿ツインサーキット	¥50,000(消費税 8%の場合、税込)	¥55,000(消費税 8%の場合、税込)																		
第 3 戦	美浜サーキット	¥60,000(消費税 8%の場合、税込)																			
第 4 戦	スパ西浦モーターパーク	¥50,000(消費税 8%の場合、税込)	¥55,000(消費税 8%の場合、税込)																		
<p>参加人数及び 傷害保険の加入</p>	<p>全戦とも1チームあたり2～6名までのドライバーとする。運転できるのは、登録したドライバーのみであり、登録外ドライバーは走行できない。 ※登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする。</p> <p>・美浜サーキットラウンドにおいては、参加するドライバー全員は美浜サーキットのスポーツ安全保険に加入していなければならない。(詳細については美浜サーキット 4 輪耐久シリーズの開催概要を参照のこと)</p> <p>・鈴鹿ツインサーキットラウンドにおいては、参加するドライバー全員は鈴鹿ツインサーキットの設定する傷害保険に加入しなければならない。(¥500/名)</p> <p>・スパ西浦モーターパークラウンドにおいては、参加するドライバーは、任意でレインボーカラーズの設定するスポーツ安全保険に加入することができる。(詳細は開催概要を参照のこと) 加入・非加入は各々のドライバーの任意とするが、加入を推奨する。</p>																				

『東海耐久シリーズ 2019』開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

クラス分け

1) K耐久(軽自動車)

下表の通り5つのクラスに分けられる

	ノーマルクラス (ほとんど改造が 出来ないクラス)	クローズドクラス (改造範囲の 狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の 広いクラス)
自然吸気 エンジン	K-NN クラス ※1	K-NC クラス ※2	K-OP クラス ※3
	K-ST クラス※4		
過給機付き エンジン	-----	K-TC クラス ※3	

※1…NNクラスには、本シリーズの車両規則及び、鈴鹿ツイン軽耐久シリーズの車両規則及び、東北NA660選手権のクラス2またはクラス3のレギュレーションに合致した車両が参加できる。ただし使用出来るタイヤや、安全規則の一部については、当シリーズのレギュレーションに従うこと。(安全規則、車両規則を熟読のこと)

※2…NCクラスには、本シリーズの車両規則及び、鈴鹿ツイン軽耐久シリーズの車両規則及び、東北NA660選手権のクラス1またはクラス4のレギュレーションに合致した車両がエントリーすることが出来る。ただし使用出来るタイヤや、安全規則の一部については、当シリーズのレギュレーションに従うこと。(安全規則、車両規則を熟読のこと)

※3…K-OP、K-TC クラスには、本シリーズの車両規則及び、鈴鹿ツイン軽耐久シリーズの車両規則に合致した車両がエントリーすることができる。

※4…特別クラスとして設定される。学生対抗選手権クラスとする。タカス.66のTC-Cクラス又は、SCCNのGT66DASHのいずれかの車両規則に合致する車両で、本シリーズの学生割引が受けられる条件を満たしているチームが、本クラスに参加できる。尚、学生によるチームでも、従来のクラスにエントリーすることは可能である(選択できる)。

【補足事項】

・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。

※ただし、東北NA660選手権のレギュレーションで参加する車両は、基本は東北NA660選手権の規則に従うこと。(タイヤや安全規則の一部など、注釈がある項目だけは当シリーズのレギュレーションに従うこと)

・NNクラス、およびNCクラスについては、新規格軽自動車は義務ピット回数優遇ハンディー設定がある。ハンディーの詳細は競技規則の「ピットハンディー」の項を参照のこと。

※東北NA660選手権のレギュレーションで参加する車両にも、新規格軽自動車ハンディーは適用される。

・ノーマル、クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。

『東海耐久シリーズ 2019』 開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

	<p>2)GT耐久(普通車) 下表の通り4つのクラスに分けられる</p> <table border="1" data-bbox="353 248 1155 730"> <thead> <tr> <th></th> <th>クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)</th> <th>オープンクラス (改造範囲の広いクラス)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1000cc 以下のNA車</td> <td>1C クラス</td> <td rowspan="3">OP クラス</td> </tr> <tr> <td>1001cc～1500cc のNA車、 1200cc 以下の過給機付車、 1501cc～1850cc のNAの後 輪駆動車</td> <td>2C クラス</td> </tr> <tr> <td>1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車</td> <td>3C クラス</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ・「1Cクラス」と「2Cクラス」は、統合して「1+2C」クラスとして表彰する。 ただし1Cクラス該当車については、ハンディが与えられる。ハンディの詳細については、競技規則「ピットハンディ」の項を参照のこと。 ・「3Cクラス」と「OPクラス」は、統合して「3C&OP」クラスとして表彰する。ただしOPクラスに該当する車両はハンディがある(詳細は競技規則、ピットハンディを参照) ・ロータリーエンジンの排気量は、1.5倍換算とする。 ・ハイブリッドカーの排気量は、1.0倍換算とする。 ・クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。 ・以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、エントリー出来ない。 ロータスエリーゼ、エクシージ等 箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等 その他主催者が上記に属すると判断した車両</p>		クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)	1000cc 以下のNA車	1C クラス	OP クラス	1001cc～1500cc のNA車、 1200cc 以下の過給機付車、 1501cc～1850cc のNAの後 輪駆動車	2C クラス	1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車	3C クラス
	クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)									
1000cc 以下のNA車	1C クラス	OP クラス									
1001cc～1500cc のNA車、 1200cc 以下の過給機付車、 1501cc～1850cc のNAの後 輪駆動車	2C クラス										
1501cc 以上のNA車 1201cc 以上の過給機付車	3C クラス										
<p>装備品</p>	<p>・ドライバーは、「SPA西浦ラウンドでは、フルフェイスのヘルメット※1必須、美浜ラウンドではジェット型ヘルメットも使用が許される。またグローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)」を両会場共必着のこと。 ※1 フルフェイスヘルメットは2輪用でもかまわないが、SNELL規格又はJIS C種の物を強く推奨する。 ・レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上の自動車競技用のものが望ましい。 ・走行中に袖を腕まくりすること、ズボンの裾をまくり上げることは禁止される。 ・長袖、長ズボンの着用は、レースアクシデント時にケガや火傷から身を守るためであることを理解の上、厚手で燃えにくい綿素材のものを着用することを強く推奨する。 ・Hans の使用は任意とする(着用を推奨する)</p>										

『東海耐久シリーズ 2019』 開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

準備必須品	<p>各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を車両 1 台につき 1 つ準備しピットに常備すること。(同一チームで 2 台参加の場合は 2 本必要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピット用消火器(車載用とは別に、粉末重量 2.0Kg 以上(又は CO2 2.0Kg 以上)のもの) ・バケツ(水を入れてピットに置いておくこと) 																
競技番号、ゼッケン	<ul style="list-style-type: none"> ・参加車両は、大会事務局によって定められた競技番号を参加者の責任において、指定の位置、書体、大きさを記入されていなければならない。 ・数字は各チームが原則として 1~999 の 3 桁の数字 を決定し、申請するものとするが、同じ番号希望者がいる場合には、主催者が決定するものとする。 ・数字はアラビア数字、書体はボールド又はゴシック体で、左右の数字のタテの長さは 28cm 以上 とすること。 ・競技番号は次の通り指定された色で記入されていなければならない。 <table border="1" data-bbox="353 520 1025 612"> <thead> <tr> <th>ゼッケン文字</th> <th>ゼッケンベース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>黒</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※形状は丸、角は問わない</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ※ボディ色が白の車両はゼッケンベースは要らない。 ・競技番号は下記の 4 箇所に貼り付けること。 <ul style="list-style-type: none"> ① フロントエンジンフード ②③ 前席左右ドア ④ リヤ ※リヤ部分の数字のタテの長さは 28cm 未満でもよいが、数字 1 文字のサイズが縦 15cm × 横 6cm 以上 でなければならない。 ・障害者用操作装置を装着した車両、及び 学生対抗選手権クラス(K-ST クラス)は、ゼッケンベースを黄色 にすること。 ・2019 年のシーズンにおいては、他サーキットのシリーズとダブルタイトルとなるため、前年度に使用したゼッケンが重複して使用できない場合がある。優先権は一旦リセットされ、第 1 戦への申込順から先着順に決定されるものとする。前年度に美浜又は GTCP 耐久シリーズに参加した実績は同一番号を希望の場合は優先されるが、複数の前年度参加実績のあるチーム同士が同一番号を希望した場合には、主催者が抽選で決定するものとする。シーズン初回の申し込みにおいては、申込前にホームページに公開される登録済み番号を確認すると共に、必ず申込用紙に第 2 希望以降の番号も記載すること。 ・一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用することができる。 	ゼッケン文字	ゼッケンベース	黒	白		※形状は丸、角は問わない										
ゼッケン文字	ゼッケンベース																
黒	白																
	※形状は丸、角は問わない																
クラス識別ステッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・参加車両は次の通りに指定された色のクラス識別ステッカーを、フロントガラス上部と、リヤガラスの 2 箇所に貼り付けなければならない。 ・リヤガラスに貼り付けが困難な車両は、リヤガラスの近くで後続車に見えやすい場所に貼ること。 <table border="1" data-bbox="353 967 943 1219"> <thead> <tr> <th>耐久クラス</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K-NN</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td>K-NC</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>K-TC</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>K-OP</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>1C/2C</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>3C/OP</td> <td>ステッカーなし</td> </tr> <tr> <td>K-ST</td> <td>白</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス識別ステッカーはレース当日の参加受付時に配布するので、必要なチームは申し出ること。 ・2019 年より識別色の変更されているので、貼り直す事。 ・第 2 戦以降、前戦に貼ったステッカーが残っている車両は、それを継続使用してよい。 	耐久クラス	色	K-NN	白	K-NC	青	K-TC	黄	K-OP	赤	1C/2C	緑	3C/OP	ステッカーなし	K-ST	白
耐久クラス	色																
K-NN	白																
K-NC	青																
K-TC	黄																
K-OP	赤																
1C/2C	緑																
3C/OP	ステッカーなし																
K-ST	白																
トランスポンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての参加車両は主催者が用意したトランスポンダーを車検時までに装着し、フリー走行、予選、決勝を通じて装着していなければならない。 																

『東海耐久シリーズ 2019』 開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

(タイム計測器)	<ul style="list-style-type: none"> ・トランスポンダーの配布は参加受け付け時に行い、レース終了後は受け付け場所まで返却すること。万一破損・紛失した場合は代金がサーキットより請求される。 ・トランスポンダーは各サーキットの指定位置に、上下正しい向きで、粘着テープ等で確実に固定すること。(サーキット毎に異なるので注意) 																																																
窓の開閉	<p>サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること(全閉)。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウィンドウセーフティーネットを運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。</p>																																																
順位認定および完走の規定について	<ul style="list-style-type: none"> ・順位認定は、管制塔前の計測ライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 ・順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。 同一周回の場合は、管制塔前の計測ライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。 ・チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%以上(端数切捨て)を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 ・走行周回数が、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位認定を受けられない。(完走扱いとはならない) 																																																
<p>賞典 (美浜ラウンドでは、美浜の賞典とする)</p>	<p>クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。</p> <table border="1" data-bbox="353 608 1016 762"> <thead> <tr> <th>クラス参加台数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9台以上</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> </tr> <tr> <td>6台～8台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4～5台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>賞典</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※賞典はトロフィー、楯、カップのいずれかとする。K-STクラスについては、特別クラスの為、賞典については他クラスと異なるものが授与される。</p>	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	6台～8台	賞典	賞典	賞典		4～5台	賞典	賞典		—	3台以下	賞典		—	—																							
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位																																													
9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典																																													
6台～8台	賞典	賞典	賞典																																														
4～5台	賞典	賞典		—																																													
3台以下	賞典		—	—																																													
<p>シリーズポイント (※美浜シリーズとは別。美浜シリーズのポイントとは異なる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとの順位で毎戦ポイントを与え、1～4戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。 ・ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の1位から10位までの車両にポイントが与えられる。 ・シリーズ順位の認定を受けるためには、3戦以上の参戦にて有効とする(参加すれば有効となり、完走していない場合も参戦とする)。 <table border="1" data-bbox="409 887 2024 1066"> <thead> <tr> <th>平均参加台数</th> <th>表彰対象台数</th> <th>順位</th> <th>鈴鹿ツイン/スパ西浦</th> <th>美浜</th> <th>順位</th> <th>鈴鹿ツイン/スパ西浦</th> <th>美浜</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9台以上</td> <td>シリーズ4位まで</td> <td>1位</td> <td>20点</td> <td>15点</td> <td>6位</td> <td>6点</td> <td>6点</td> </tr> <tr> <td>6～8台</td> <td>シリーズ3位まで</td> <td>2位</td> <td>15点</td> <td>13点</td> <td>7位</td> <td>4点</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>4～5台</td> <td>シリーズ2位まで</td> <td>3位</td> <td>12点</td> <td>11点</td> <td>8位</td> <td>3点</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>シリーズ1位まで</td> <td>4位</td> <td>10点</td> <td>9点</td> <td>9位</td> <td>2点</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5位</td> <td>8点</td> <td>7点</td> <td>10位～</td> <td>1点</td> <td>1点</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントは競技番号に付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、同じ競技番号を継承すればポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合はポイントの継続は出来ない。 ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数が多い順に決定される。 なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定する。 ・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。 ・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1～4戦までの平均参加台数によって決まる。 <p>※平均台数は小数点以下切り上げとする。つまり平均3.1台の場合は4台と換算。</p>	平均参加台数	表彰対象台数	順位	鈴鹿ツイン/スパ西浦	美浜	順位	鈴鹿ツイン/スパ西浦	美浜	9台以上	シリーズ4位まで	1位	20点	15点	6位	6点	6点	6～8台	シリーズ3位まで	2位	15点	13点	7位	4点	4点	4～5台	シリーズ2位まで	3位	12点	11点	8位	3点	3点	3台以下	シリーズ1位まで	4位	10点	9点	9位	2点	2点			5位	8点	7点	10位～	1点	1点
平均参加台数	表彰対象台数	順位	鈴鹿ツイン/スパ西浦	美浜	順位	鈴鹿ツイン/スパ西浦	美浜																																										
9台以上	シリーズ4位まで	1位	20点	15点	6位	6点	6点																																										
6～8台	シリーズ3位まで	2位	15点	13点	7位	4点	4点																																										
4～5台	シリーズ2位まで	3位	12点	11点	8位	3点	3点																																										
3台以下	シリーズ1位まで	4位	10点	9点	9位	2点	2点																																										
		5位	8点	7点	10位～	1点	1点																																										

『東海耐久シリーズ 2019』開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

【SPA西浦・美浜 共通車両規定】(全部門、全クラス共通安全規定)

- ・昨年からの変更点は**赤色**、**追記については青色**で記載してあります。
- ・K耐久部門で東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両は、「★ロールケージ」、「★シートベルト」、「★前後牽引フック」、「★安全燃料タンク」、「★床」の項目については、2018年東北NA660選手権のレギュレーションに従うこと。それ以外の項目については、当レギュレーションに従うこと。

<p>車体(ボディ) ※追記</p>	<p>日本国内で生産され、国内でナンバー取得の実績がある車体であること。その確認の意味を含め、そのシーズンに初めて参加する(チーム登録を行う)際に、車検証又は抹消登録証等の書類の提出を行うこと。(2回目以降は、車体に変更がなければ行わなくてよい)</p>
<p>★ロールケージ</p>	<p>ロールケージの材質は、鋼管製(クロモリ製含む)でなければならない。</p> <p>① オープンクラスの車両・・・4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 以下の条件に当てはまる車両は、運転席側にドアバーを取り付けることが義務付けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアビームを取り外した車両 ・ 合成樹脂製のドアに変更した車両 ・ 標準でドアビームが無い車両 <p>② クローズドクラスおよびノーマルクラスの車両・・・ロールケージの装着を強く推奨する。</p> <p>オープンカーは4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 ※スチール製以外の脱着ルーフおよび開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。 ※SPA西浦モーターパークでは、オープンカーは6点式以上のロールケージを装着している場合でも、ルーフは閉じて(装着して)走行しなければならない。(美浜サーキットでは、サーキットの走行規則に準ずる) ガラスサンルーフ車およびグラストップ車は、6点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。(さらにガラスサンルーフ、グラストップの項目の安全規定も満たすこと) ※ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。</p>
<p>★シートベルト</p>	<p>運転席には、4点式以上のシートベルトを装着することが義務付けられる。ベルトの幅は3インチのものを推奨する。ショルダーベルト後方にバックルがあるタイプの物は、極力使用しないこと。シートベルトは確実な方法で車体に固定すること。取り付けのためのボディー加工は可能だが、最小限にとどめること。※横転事故が発生しています。怪我を防ぐため、皆さんのご協力をお願いします！</p> <p>シートベルトの取付については、下記の項目を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取付に関して、既存の車体のボルト穴を使用するか、フロアに穴を開け、プレート及びアイボルトを使用すること。その場合、装着が可能であるならば、自動車製造者により設置された「シートベルト取付位置」、「取付孔」、「取付ボルト」等を変更せずに使用することを推奨する。 ・アイボルトもしくはシートベルト直止めの固定のみとし、L字ステーやカラビナ、U字材等は使用してはならない。 ・シートレールと共締め、シートレールに取付け、溶接による取付は禁止する。 <p>また、取付についてはP7の図を参考として、確実に行わなければならない。</p>
<p>車載消火器</p>	<p>全ての車両は消火器を搭載することが義務付けられる。(他のシリーズに参戦、東北NA660選手権のレギュレーションで参戦している車両も含む)</p> <p>① 仕様 消火器は粉末2Kg以上の内容量が必要である。(または「別表1」に記載してある、FIA国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条に認められた物を装備してもよい)</p> <p>② 取付場所／取り外し 消火器はドライバー等が容易に取り外せる位置に取り付けなければならない。 (推奨場所は助手席の足元)</p>

『東海耐久シリーズ 2019』 開催概要／共通車両規則・安全規則 Ver.2.0

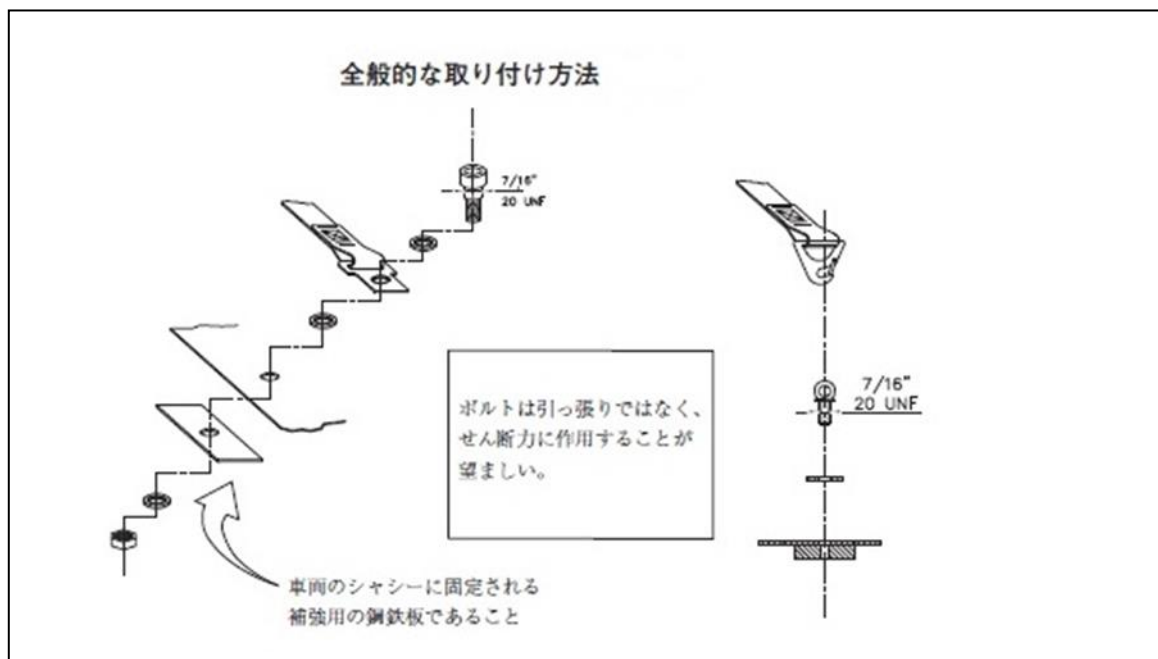
	<p>③ 取付方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュした際に耐えられるように頑丈に取り付けなければならない。(ブラケットのリベット留めは禁止される) ・取付け方向は車両の前後方向中心線に対して、出来る限り直角に近い状態にすること。 ・金属製ストラップの付いたワンタッチ金具の装着が認められる。(2箇所装着することを推奨する)
★前後牽引フック	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の前後に牽引フックを備えなければならない。 ・牽引フックは車両を牽引して移動するのに十分な強度を有していなければならない。材質はスチール製、またはケーブルフープ式であること。可倒式も許される。 ・牽引フックは車両が砂地に停車した時でも使用が可能な位置に極力取り付けること。 ・砂地に停車した時に牽引フックが隠れる可能性がある場合は、黄色、オレンジ色、赤色の矢印で、牽引フックの位置を明記すること。 ・牽引部は黄色、オレンジ色、赤色のいずれかであること。 ・その他の仕様についてはJAFの安全規定に合致したもの(内径φ50、断面積1平方センチ以上)を推奨する。 <p>※コースアウトなどによりレスキューが牽引した際に、周辺部品が破損したことについてのクレームは一切受け付けないので、取付位置や角度には十分に注意すること。</p>
イグニッションスイッチ	イグニッションスイッチ(純正含む)および、燃料ポンプスイッチは、その位置が容易に確認出来るよう黄色で明示しなければならない。
★安全燃料タンク	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラスとも安全燃料タンクの装着が許される。但し装着した場合には純正タンクを取り外すか、使用不可の状態にしなければならない(燃料系統を確認する)。 ・安全燃料タンクはFIA公認品の使用を強く推薦する。 ・コレクタータンクを別に装着する場合は最大容量 2L までとする。 ・取り付けは当初の燃料タンクの位置、あるいは荷物室に取り付けることが許される。 ・漏出した燃料が車室内に滞留しない構造であること。また、荷物室に設置した場合、アルミ板等の難燃性材料による隔壁を取り付けなければならない。 <p>※その他取付けにあたっては「JAF国内競技車両規則 第4章第12条『安全燃料タンク』」の項を参考にする。</p>
ライト	ガラス製のライト類には無色透明の飛散防止テーピングを施さなければならない。(プラスチックレンズは不要)
★床	<p>防音材、防振材は取り外すことが許される。</p> <p>カーペットは取り外すことを推奨する。</p>
ガラスサンルーフ、グラストップ	<p>ガラスサンルーフまたはグラストップ車両は、そのガラス部分をルーフと同一以上の厚みを持つ金属板を溶接するか、または金属版と同等以上の強度を持つ複合強化プラスチック(CFRP、FRP)をリベット止めして、ルーフと一体化する事。</p> <p>ガラスサンルーフまたはグラストップ車両は、上記の措置を施した場合でも6点式以上のロールケージの装着が義務付けられる。</p>
バッテリー、オルタネーター	<p>バッテリーおよびオルタネーターの+端子は、クラッシュ時の火災を防止するために、テーピングして絶縁すること。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと)</p> <p>オープンクラスで「ドライタイプでないバッテリー」を室内に移設する場合は、頑丈なカバーでバッテリー全面を覆うこと。</p>
オイルキャッチタンク	<p>ブローパイ経路を変える場合、大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。</p> <p>オイルキャッチタンクの取り付け方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。</p> <p>容量は2L以上を推奨する。</p>
ウインドウネット	<p>装着を強く推奨する。ネットの固定は、万一転倒して力が掛かった場合に取外れることが無いよう確実にすること。</p> <p>(運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される)</p> <p>ネットはレース用として販売されている物、又は同等の強度・品質・寸法を持つものに限る。</p> <p>ゴルフネットやバイクのラゲッジネットなどの使用は認められない。</p>

※上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、JAF国内競技車両規則を参考にする。

別表1

参考)2017年国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条 抜粋	
7.3.2)認められる消火剤	AFFF、FX G-TEC、Viro3、粉末消火剤、FIAが公認したその他の消火剤
7.3.3)消火剤の最少容量	AFFF:2.4L FX G-TEC:2.0Kg Viro3:2.0Kg Zero360:2.0Kg 粉末:2.0Kg

別図(1) シートベルト全般的な取付方法



別図(2) 取付ける際の車体側の補強

